

広

報

9

No.752

2009.September

あぐね



(脇本小 交通安全教室)

手をあげて 左右の安全確認！

9月3日、秋の全国交通安全運動を前に脇本小で交通安全教室が行われました。1・2年生は、道路での安全な歩き方や横断歩道の渡り方などを、3年生から6年生は自転車の安全な乗り方などを学びました。

*今年の秋の全国交通安全運動は、9月21日から30日まで「ルールとマナー 乗せて走ろう 秋の道」をスローガンに実施されます。

広報あくね 9月号

CONTENTS

阿久根市職員採用試験	2
市長コラム	3
第11回あくね洋画展	4
平成21年度少年少女弁論大会	6
みんなのアルバム	8
くらしの情報	10
健康コーナー	12
うぶごえ・おくやみ	15
フレッシュスマイル・サークル紹介	16

阿久根市職員採用試験のお知らせ

1 試験職種、採用予定人員および受験資格

試験職種	採用予定人員	受 験 資 格
一般行政職 (課長職)	1 名	昭和29年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれたもので、高等学校卒業程度の学力を有するもの

2 試験内容および受験手続等

- ・第1次試験 書類提出のみ（作文試験、エントリーシート）
- ・第2次試験 面接試験

※第1次試験の書類は、9月30日（水）までに受験申込書と併せて提出してください。ただし、土・日・休日は除きます。なお、郵送の場合は、9月30日（水）有効消印とします。

※募集についての詳細は、総務課備付けの阿久根市職員採用募集要綱もしくは市ホームページをご覧ください。

※受験申込書の請求・提出先および受験手続に関する問い合わせ先

〒899-1696 阿久根市鶴見町200番地

阿久根市役所 総務課 職員係

☎73-1211（内線1215）

※市のホームページでは、募集要綱、受験申込書、作文用紙がダウンロードできます。

<http://www.city.akune.kagoshima.jp/sisei/saiyo.html>

皆様のふるさと納税への

ご協力に感謝します

―ふるさと納税 平成20年度実績は計31名・約193万円―

「ふるさと納税制度」は、「ふるさとを応援したい!」「ふるさとに貢献したい!」という県外にお住まいの方々のお気持ちを、寄附を通じて実現するための制度です。

阿久根市では、昨年度から県外にお住まいの方々に対して、寄附のお願いをしており、平成20年度に直接寄附をされた方は21名で約160万円でありました。また、鹿児島県を通じて寄附された方は10名で約33万円が交付金として交付されました。

寄附をされました皆様方に感謝を申し上げます。今後、指定された使い道に従い活用してまいりたいと考えております。

本年度も引き続き「ふるさと納税」を受け付けております。市民の皆様におかれましては、県外に在住されている子どもさんや兄弟など親族の皆様、友人・知人の皆様にご協力いただける方がおられましたら関係書類をお送りしますので、お問い合わせください。

◇ふるさと納税の仕組み

阿久根市に寄附した場合に、今住んでいる場所で所得税と個人住民税が一定額まで控除される仕組みです。控除される額は、所得税と個人住民税で合わせて、寄附金額から5千円を差し引いた額が基本となりますが、おおむね個人住民税所得割の1割を上限としております。

※問い合わせ先 阿久根市 ☎（73）1211

寄附の受付について 企画調整課企画推進係（内線1231）
税金の控除について 税務課課税係（内線1443・1444）

二通の手紙から

「まっすぐに生きて

自らを捧げる」

阿久根市長 竹原 信一

7月21日に阿久根出身の書家、渡辺覚様から手紙にて作品寄贈のお申し出をいただきました。市長室前の壁にある「育徳」と書かれ、読売書道展ではグランプリに選ばれた大作です（左の写真）。



「育徳」 渡辺 醒齋 作

書の側には説明を付けました。

「育徳」

（意）徳を養い成長すること

（育）（子が頭を下にして生まれるさま）に肉（からだの意）

を加えて、子を生む、ひいて「そだてる」意を表す。

（徳）恵が原字。心と直（まっすぐの意）とで、まっすぐな心、ひいて正しい行為の意

この作品には人がまっすぐに生きる姿が描かれています。

8月23日には鎌倉の方からお手紙を頂きました。以下は手紙の内容です。

私は貴市の折口浜沿いの岩船神社の松林の中にある「故林少佐戦死の地」という慰霊碑等がありますが、その林の弟でございます。

この慰霊碑等につき清掃・管理をお願いし、線香の一本でも供えて頂けないものか—— 以下略

折口海岸のグラウンド奥にある林少佐の慰霊碑には次の文が彫られています。

数機を墜しなB29編隊の集中砲火を犯して肉迫攻撃する阿修羅のような隊長の姿を見たのが最後であった。自らも被弾して遂にここ折口の海に二十五才の短い生涯を燃え尽くすかのように散華された。沖合に沈む紫電改から地元有志の手によって遺体は集客され手厚く荼毘に付されその奮戦を称えてここに碑を建立された。

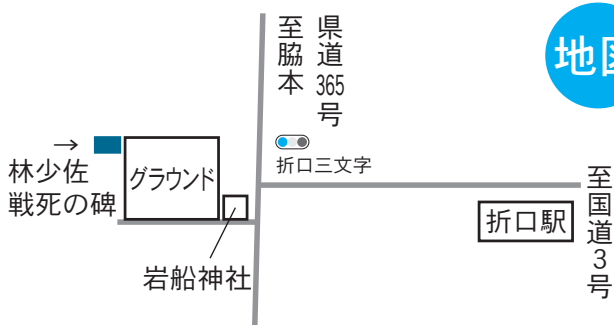
この場所は「命をすて、同胞を守らん」と過酷な任務を背負った三四三空勇士の悲傷の地である。春に先がけて大空に散った英霊が憂国同胞愛の清明な心を留める「聖なる地」を顕彰し、共に悠久の平和を希う事こそ次の世代に伝えるこの地の人達の郷土愛のあかしと思うからである。（以上、碑文の一部）

恥ずかしながら、私はお手紙をいただいて初めて碑の存在を知りました。折口海岸の海中には今も林少佐の戦闘機が沈んでいます。私は不明を深く反省し、碑の洗浄と周囲の清掃をして線香を供えさせていただきました。

お金第一主義が蔓延した昨今では、選挙が終われば市民を軽視する政治家や、公務員でありながら税金を自分たちの為に使うたかいたかをする自治労、そしてともと命令に服従する気のない職員など、市民を守るために命を捧げた方々に対して顔向けのできない状態があります。このような社会を立て直すためには、まっすぐに生きて自らを捧げる事のできる人を育てなければなりません。

二通のお手紙を機にあらためて確信させていただきました。

地図



林少佐戦死の碑



ふるさとの魅力を描く

— 第11回あくね洋画展 —



内川達先生（右端）の解説を聞く大勢の来場者



あくね洋画展開会のテープカット

8月22日から8月30日まで、阿久根市民会館大ホールで「第11回あくね洋画展」が、豊かな郷土の魅力再発見と文化のまちづくりをテーマに開催されました。

今回は県内外から一般の部272点、ジュニアの部844点、合計1116点の応募があり、会場には阿久根の豊かな自然や風景、人物、静物など様々なテーマで描かれた369点の入選作品などが展示されました。

また、初日の22日は、受賞者の表彰式のほか、内川達先生（創元会会員）による作品解説もありました。

昨年に引き続き、来場者の投票によって決定する「ギャラリー賞」が設けられ、来場者は熱心に鑑賞し、気に入った作品に投票していました。

あくね洋画大賞 受賞作品

※敬称略

◎一般の部

脇園 妙作

「結うー」



◎ジュニアの部

橋元 紗彩 作

「二輪車に乗っている友達」



あくね洋画展受賞者

「」は作品名・敬称略

◎一般の部

◎あくね洋画大賞

脇園 妙 「結う」(阿久根市)

◎市長賞

富園 靖子 「か・れ・て・」(さつま町)

◎議長賞

本田 洋子 「こんにちほ」(伊佐市)

◎教育長賞

遠矢 敏行 「RETRO」壁(阿久根市)

◎委嘱作家賞

志茂 むつ 「楽しみ」(阿久根市)

◎県美協会賞

崎田 美和子 「光る棚田」(出水市)

◎奨励賞

大山 寧江 「願い」(伊佐市)

野中 久恵 「不動明王」(出水市)

中村 清久 「川内駅」(薩摩川内市)

赤城 繁治 「グランドゴルフ大会」(出水市)

宮内 由美 「久美ちゃん」(水俣市)

赤松 繁 「花の小宇宙」(出水市)

浜崎 正子 「未来っ子像」(阿久根市)

滝本 百花 「片陰」(出水高校)

稲葉 律子 「母」(福岡市)

松本 朋子 「花の残像Ⅲ(流れる花)」(伊佐市)

◎委嘱推挙

永吉 みさ子 「祈る」(伊佐市)

藤原 和郎 「もう一つの風景B」(鹿児島市)

◎ギャラリー賞

下村 瑞穂 「夕景」(出水市)

野田 一 「みのり」(出水市)

水流園 楊子 「潮騒の唄を聴く」(南さつま市)

◎ジュニアの部

◎あくね洋画大賞

橋元 紗彩 「二輪車に乗っている友達」(高尾野小学校3年)

◎市長賞

神田 功也 「浜崎鮮魚店」(高尾野小学校6年)

◎議会議長賞

水永 悠斗 「魚をたくさん運ぶトラック」(本浦小学校4年)

◎教育委員会賞(学校賞)

出水市立高尾野小学校

◎県美術協会賞

熊谷 郁哉 「船」(山下小学校5年)

◎南日本新聞社賞

松元 来夢 「静物画」(阿久根中学校3年)

◎特選

大漣 祥太郎 「ぼくのだいすきなにわとり」(下水流小学校1年)

白尾 大輝 「にわとりにえさをあげたよ」(出水小学校1年)

川下 結珠愛 「のれたよーりん車」(鶴川内小学校2年)

橋元 彩葉 「ジャングルジム 楽しいな」(下水流小学校2年)

大迫 康祐 「消防車」(高尾野小学校5年)

鶴園 まほ 「緑の家」(阿久根小学校6年)

広田 大樹 「まどからみえる電柱」(九玉小学校6年)

小崎 美加 「ひまわり」(鷹巣中学校1年)

坂元 賢太 「体育館」(三笠中学校2年)

児玉 早代 「陸と海」(宮之城中学校3年)



展示された多数の力作を鑑賞する来場者



あくね洋画大賞を受賞した
一般の部 脇園 妙さん(右)
ジュニアの部 橋元 紗彩さん(左)

平成21年度少年少女弁論大会

小中学生が堂々と

熱弁をふるう



市内の小中学生による平成21年度少年少女弁論大会が8月3日、阿久根中学校体育館でありました。

各学校の代表として出場した小学生9人、中学生5人は、審査員や大勢の観客らの前で、将来の夢や自分の意見などを堂々と発表しました。

なお、大会結果は次のとおりです。
※敬称略

■小学生の部

○市長賞

寺地 春香（大川小6年）

「ふるさとのバトン」

○議長賞

児玉 瑛帆（阿久根小6年）

「あいさつは 心のかけ橋」

○教育長賞

野中 康稀（尾崎小6年）

「けがが 教えてくれたこと」

辻 夢紗史（脇本小6年）

「華のぼんたん学寮に参加して」

■中学生の部

○市長賞

笹原 麻奈美（三笠中3年）

「言葉の重み」

○議長賞

大田 留美（阿久根中3年）

「あたり前のことができますか」

小学生の部 市長賞

ふるさとのバトン

大川小6年

寺地 春香さん



みなさんは、自分のふるさとが好きですか。わたしは大好きです。それは、ふるさとのバトンをもらったからです。

「お帰り。今日は、今だったねえ。」学校の帰り道、いつも声をかけてくれるおばちゃん。畑仕事をしていても、くわを置いて話しかけてくれます。その笑顔に見守られながら、坂道をぐんぐん上り、家に帰ります。

「ただいま、お母さん。今日も、おばあちゃんが話しかけてくれた。うれしかったあ。」すると、母は、洗濯物を干している手を止め、ほほえみながら言いました。「あのね、春香。地域の方が話しかけてくれるのは、昔

から、大川の子どもは、大川で育てることになっているからだよ。」母の言葉に、はっとしました。なぜなら、思い当たる出来事が、いくつかあるからです。

例えば、通学路には、毎日、黄色の旗を持ったおじさんが立っています。「おはよう。」と、明るく声をかけてくれます。その姿や声に元気をもらって、わたしは登校します。

また、学校でのふれ合い活動も、よみがえってきます。大川小学校では、地域の方から、昔の遊び方や米作り、ぼんたん漬けや丸干しの作り方などを学びます。その中で、いねかりを教わったときのことです。

「いねのきい方は、こげんしてかまを持つて、いねの上をひっぱるように切るんだよ。」と、汗をかきながら、優しく教えてくれるおじいちゃん。教わったとおりにすると、何とか、いねを切ることができました。「あんなあ、切るのがうまかねえ。」と、おじいちゃんにほめられたのがうれしくて、笑顔でうなずきます。わたしは、その愛情のこもった教え方や、温かいまなざしに、心がふんわりとなりました。

地域の方との交流をふり返る

と、ふだんから、子どもを見守り、昔からの知恵などを教えてくださっていることに気が付きます。感謝の気持ちでいっぱいになりました。一方、「なぜ、こんなに、子どもを大切に育ててくれるのだろう。」と、不思議に思えてきます。そこで、老人クラブの元会長さんに質問してみました。すると、わたしの目をじっと見て、「やがて、大川をせおっていくのは、今の子ども達だから、三十年、五十年先を考えれば、そのまま素直に、のびのびと育ってほしい。そして、さらにすばらしい大川をつくってほしい。」と、かみしめるように話をしてくれました。その思いが、まっすぐに飛びこんできて、心に響きました。今、わたしは、ふるさとのバトンをしっかり受け取ったのです。

母の言葉「大川の子どもは、大川で育てる。」その意味が、はつきりと分かりました。それは、地域の方が、子どもを思い、愛し、ふるさとの未来に期待を寄せているということ。そして、これらの思いは、バトンのように、その世代から次の世代へと受け継がれていくものであること。だからこそ、大川の人々は、昔から、子どもを温かく見守り、

大切に育てているのです。

わたしは、これからも、地域の方から、多くのことを学びたいと思います。そして、その教えや、ふるさとへの思いを大切にしたいです。将来、大川の子どもに伝えるために。

みなさんは、自分のふるさとが好きですか。わたしは大好きです。なぜなら、バトンを受け継いでいるから。それには、愛情や希望があふれているから。みなさんの心の中にも、きっとあるはずです。ふるさとのバトンが。

中学生の部 市長賞

言葉の重み

三笠中3年

笹原 麻奈美さん



「言葉」という言葉を聞いたことがありますか？言葉とは、

言葉ひとつひとつにも魂が宿っているということ。つまり、言葉にはそれ自体に力があるのです。みなさんは、自分の言葉の重みについて考えたことがありますか？今日一日の中で、「キモい」「ウザい」「死ぬ」「消えろ」、こんな言葉を使ってしまったという人はいないでしょうか。何気ない、ほんのささいなそのひと言が、あなたの気付いていないところで、人を傷つけたり、人を差別する言葉になったりしているのです。友達や親との会話の中で、相手が気にしていることをわざと言ったり、つい、心ない言葉を口にしてしまったりしてはいませんか？誰しも一度は心ない言葉を口にしたことがあるはず。しかし、そうした言葉を使ってしまったら、その「言葉の重み」がわからなくなってしまうがちです。こうしたことを踏まえ、改めて言葉ひとつひとつの重みについて考えてみました。

私は昨年の人権学習で、小森美登里さんの講話を聞きました。その講話の中では、いじめによって十五歳で自ら命を絶った娘さんの香澄さんのことや、いじめで我が子を失った親の苦しみなどが語られました。講話の後に配られたカードには、香澄さんが残したメッセージが書かれていました。それは「やさしい心が一番大切だよ」という言葉でした。既に、この世にいない娘からのこのメッセージを、ワープロから見つけたご両親はどのような気持ちになられたでしょう。私はこの言葉に、心ない言葉が飛び交う今、もっとも大切にしなければならぬものは、「人を思いやる優しい言葉」なのだと、香澄さんが私たちに語りかけているように感じました。周りのみんながこのメッセージに早く気付いて、香澄さんの心を救うような「やさしい言葉」をかけていたら、大切な命が失われることはなかったと思います。

今、問題になっている「いじめ」。これも言葉の暴力により心に深い傷を負うことが原因になっています。自分よりも劣っているから、人と違って気持ちが悪いくらいから……。相手の気持ちや状況を考えずに、思ったことをただ何となく口走ってしまう。そんな軽々しい配慮に欠けた考えが、人を傷つける言葉を使わせてしまうのです。インターネットの普及した今、口で直接言う言葉だけでなく、身元が特定しにくい「匿名」という形で心ない言葉を乱用することも日常となっています。学校裏サイトやネットいじめなどの問題は、身近なところでも起っていると聞きました。

しかし、言葉は人の心を傷つけるだけではありません。例えば、感謝の気持ちを伝える言葉「ありがとう」、相手をいたわる言葉「大丈夫？」など、こうした優しい言葉、相手を思いやる言葉は、先ほどの「心ない言葉」とは逆に、人の心を救うこともできるのです。いつも使っている何気ない言葉には、それぞれに違った重みがあります。時には人を傷付けたり、不快な気持ちにしてしまう場合もあるので、状況に応じて使い分けていかなければならないと思います。何気ない、ほんのささいなひと言が、人の心を支え、人の命を救うこともあれば、逆に、人の心を折ってしまうこともあるということを忘れてはならないと思います。そして、いつも言葉の重みや相手の気持ちを考えて、言葉を使うようにしなければならぬと思います。

私は、相手を思いやる言葉が、「優しい心」を生み育てていくものだと思っています。

みんなのアルバム

新鮮な海の幸が大好評！

— 第19回あくね新鮮おさかな祭り —

8月13日、「エナコロジーフェスティバル 第19回あくね新鮮おさかな祭り」が阿久根漁港新港水揚場で開催されました。

阿久根港に水揚げされたばかりの水産物の販売や水産加工品が、市価よりも安く販売されるとあって、大勢の買い物客らでにぎわいました。また、五つ太鼓やダンスなどのステージイベントのほか、魚のつかみどりもありました。魚のつかみどりでは、子どもたちは合図にあわせてヒラメやアジなどが泳ぐ水槽に飛び込むと、ずぶ濡れになりながら魚を追いかけていました。

楽しい話題などをお知らせください。
秘書広報係 ☎73-1211 (内線1214)



鮮魚を買い求める大勢の方々



魚をさばく中学生

阿久根の水産業を学ぶ

— 水産教室 —

8月22日、水産業に対する理解を深めてもらおうと市漁業者後継者対策推進協議会の主催で、水産教室が開催されました。今年の水産教室には、市内の中学生22名が参加。参加者は、市場見学や海上での船釣り体験を行いました。また、北さつま漁協青壮年部の指導を受けながら「もやい結び」や「本結び」などのロープワークのほか、「きびなごの南蛮漬け」や「まいわしの蒲焼き」などの魚料理にも挑戦していました。

245キロ超の巨大カボチャが優勝

— ジャンボカボチャコンクール —

8月17日、脇本地区公民館で第8回三笠地域村おこしジャンボカボチャコンクールが開催され、一般の部に48個、小学生の部に24個の巨大カボチャの出品がありました。今年の最重量賞は田畑ツキエさんが受賞。重さは245.2キロで、前回の記録を60キロ余り上回る過去最高の重量となりました。

◎大会結果（敬称略）

- ・重量賞（一般の部） 田畑 ツキエ（245.2kg）
- ・重量賞（小学生の部） 古賀 うらら（125.2kg）



「大きい」と歓声を上げる子どもたち



面接指導を行う阿久根ロータリークラブの会員

投稿
記事

高校生の就職面接指導に一役！

— 阿久根ロータリークラブ —

8月6日、阿久根ロータリークラブ（出口時治会長）の会員12名が、鶴翔高校の3年生（56名）に模擬面接会を実施しました。この模擬面接会では、9月から始まる高校生の就職試験に向けて、阿久根ロータリークラブが行ったものです。

生徒らは、面接官役となったロータリークラブの会員からの本番さながらの鋭い質問に、回答が詰まる場面もありましたが、面接終了後には指摘事項をノートにメモしたり、生徒同士で面接練習をする姿も見られました。

平成21年度働く女性の家 後期講座のご案内



募集期間 9月15日(火)～30日(水)
受講料無料 (ただし、材料費・資料代など
実費負担)
託児あります。(満2歳から就学前まで)

曜日	講座名	時間	回数	定員	開講日	内容
月	リフレッシュヨガ	19:30～21:00	12	20	10月19日	健康づくり・肩こり解消のため、はじめての人でも簡単にできるヨガを始めましょう。
火	就労のためのパソコン (エクセル初級)	19:30～21:00	12	15	10月6日	エクセル(表計算ソフト)を基礎から正しく覚えてパソコンを上手に使いこなしましょう。さらにデジカメの写真編集まで学べます。初心者歓迎。市民会館2Fパソコン室で行います。
第1・3水	お弁当作りのコツ	19:00～21:00	12	20	10月7日	日々のお弁当作りに悩んでいる方、手早く・おいしくお弁当をつくる裏技を教えます。
第3木 月1回	ハーブに親しむ (簡単ハーブクッキング)	11:00～13:00	6	15	10月15日	とっておきのハーブ生活を体験してみませんか。
第2・4金	おしゃれなフラワーアート	10:00～12:00	12	15	10月9日	レカンフラワー・ネイチャー・押し花などいろいろな技法でオリジナルのフラワー作品を創ってみませんか。
短期 講座	みそづくり	午前中	2	13	10月初旬	お味噌は手作りです。 開催日時は、後日連絡します。(みその仕込みは気候に左右されるため)
	暮らしを彩る季節の フラワーアレンジメント	全2回共受講可能な方				
	第1回 クリスマス	19:00～21:00	2	15	12月21日	クリスマスムードを盛り上げるフラワーアレンジメント
	第2回 お正月				12月28日	迎春用のフラワーアレンジメントでおもてなし

※ 主に18歳以上で市内在住または在勤の女性であれば誰でも受講できます。

申込書

受講講座名	
氏 名	
年 齢	歳
住 所	阿久根市 (区)
連絡先(自宅・携帯)	
職業の有無	有 ・ 無
連絡先(職場)	
※市外在住の場合勤務先名	
※託児希望の場合	
子供の名前	
年齢 性別	歳 男・女

* ご記入いただいた個人情報は、目的以外に使用することはありません。
※ 申込み・お問い合わせ先(電話、FAX、メール、郵便で申し込みください)
・ 働く女性の家
☎ 73-3769
〒899-1626
阿久根市鶴見町166番地
阿久根市働く女性の家
・ 企画調整課
☎ 73-1211
(内線1231)
FAX 72-2029
・ メールアドレス
kikaku@city.akune.kagoshima.jp
(フリーメールアドレスによる申込は確認が出来ない場合があります。)

第3期 アクネ大使の情報を ご提供ください

市では、市に縁があり愛着を持つ方々の中で、まちづくりへの助言やPRなどにご協力くださる方をアクネ大使として任命しています。

今年12月に第2期の任期が満了します。そこで第3期のアクネ大使になっていただける方を探していますので、市に縁がある著名な方々の情報を提供ください。いただいた情報の中から「市で直接お伺いし、お願いの上、大使として活動していただける方」を任命させていただきます。皆様の情報をお待ちしています。

※誠に勝手ながら、情報の提供は10月末日までお願いいたします。

※問い合わせ先 企画調整課企画推進係
☎(73) 1211 (内線1231)

年金の学生納付特例の手続は お済みですか

前年所得が一定以下である20歳以上の学生の方が申請することで、国民年金保険料の納付が猶予される学生納付特例制度があります。

平成21年度の申請手続がまだの方は年金手帳、印鑑、学生証(在学証明書でも可)をご持参のうえ、市役所市民環境課国民年金係で手続をしてください。

※問い合わせ先 市民環境課国民年金係

船員の方へのお知らせ

9月は「船員労働安全衛生月間」と定められています。期間中、次の船員法指定病院の協力を得て、船員の方を対象に無料健康相談所を開設します。

※無料健康相談所

門松医院(大丸町)
☎(64) 6100

※問い合わせ先 鹿児島運輸支局
☎099 (222) 5660

動物愛護週間 9月20日～26日

犬や猫などの小動物は人間のパートナーとして、私たちの生活に潤いをもたらしてくれます。

しかし、その一方で、騒音や悪臭などペットをめぐるトラブルも絶えません。また、安易に動物を捨てたり、虐待したりする事件も増えています。

飼主には、命ある動物の一生を面倒みるという強い自覚と責任感が求められています。

戦没者のご遺族の方へ

第9回特別弔慰金が支給されます

◇対象者

平成17年4月1日から平成21年3月31日までの間に、戦没者等の公務扶助料、遺族年金などの年金給付を受けていた方が亡くなるなどして、平成21年4月1日において、これらの年金給付

を受ける人が誰もいなくなった遺族のうち、どなたかお一人の方

◇支給内容

額面24万円 6年償還の記名国債

◇請求期限

平成24年4月2日まで

※申込先 生きがい対策課福祉係

☎(73) 1211 (内線1416)

子育て応援特別手当

DV被害者などの事前申請について

子育て応援特別手当は、幼児教育期の負担に配慮する観点から、生年月日が平成15年4月2日から平成18年4月1日までの子どもがいる世帯主に対して、対象になる子ども1人当たり3万6千円が支給されます。

子育て応援特別手当の申請受付は12月11日(金)から開始の予定です。

ただし、配偶者からの暴力(DV)の被害者の方など、いろいろな事情で、阿久根市にお住まいでないながら住民登録ができず、他の市町村に住民登録がある方は、10月1日(木)から10月30日(金)までに事前申請ができます。事前申請を希望される方は、手続方法などお問い合わせください。

なお、事前申請に該当しない世帯の方の手続方法は「広報あくね11月号」でお知らせします。

※問い合わせ先

生きがい対策課 児童対策係
☎(73) 1211 (内線1411)

有料広告

保存版

住居の事なら

●即おこたえ致します●

電話(0996) 72-3131番

改装の一例
(和式を洋式)
159,600円
(工事代含む)

和式 洋式 暖房便座付き

◎御電話を頂けば見積り及び相談が電話にてできます

(受付) 大工の里

住所 阿久根市山下10番地 (岩崎一男)

大切な住宅の相談は大工さんが一番です

あなたの住宅は何年になりますか。悪い箇所を放っておくとだんだんひどくなり、修理代が2倍・3倍にもなります。故に修理はできるだけ早めになされるのが得策です。

※次のような場合は点検が必要です。

- ・屋根に雨漏りの箇所がある
- ・台所の床がぶかぶかする
- ・便器やタンクで水漏れがしているような気がする
- ・建具の開け閉めが硬くて重たくて毎日が苦痛
- ・白アリがついていそうな気がする

「住居のことなら」左官、水道、電気、他すべておまかせ下さい。

モデルルーム(ミニハウス・浴室・洗面所) 公開中
(ホームページ) <http://daikunosato.iinaa.net/>

行政に対する相談は行政相談委員へ

毎日の暮らしの中で、役所などが行っている仕事に対する疑問や要望・相談事はありますか。そのような時は、総務省の「行政相談委員」に相談ください。なお、次のとおり行政相談会が開催されます。お気軽に相談ください。

◇日時 10月21日(水) 13時30分～16時30分

◇場所 社会福祉協議会

*本市の行政相談委員 太田信子さん

☎(75) 0018(昼)

☎(75) 0716(夜)

採石業務管理者試験について

平成21年度採石業務管理者試験が、10月9日(金)10時から「かごしま県民交流センター」で実施されます。受験を希望される方は、9月25日(金)までに受験手続を行ってください。

※受験に関する問い合わせ先

県商工労働部商工政策課

☎099(286)2111(内線2933)

鹿児島障害者職業能力開発校では障害者委託訓練生を募集しています

◇応募資格

身体に障害をお持ちの方で、早期の就職や復職を目指す方

◇訓練内容

パソコンを利用した訓練

◇募集期限

10月7日(水)まで

*授業料および教材費は無料です。
※問い合わせ先

鹿児島障害者職業能力開発校
☎0996(44)2206

マキドラ 交通安全夢祭りの開催について

◇日時 9月21日(祝) 10時～16時30分

◇場所 マキオドライビングスクール

*地域の安心・安全を願い、子どもからお年寄りまで幅広い層の方々に楽しみながら、交通安全について考えていただくために開催します。雨天の場合は阿久根総合体育館で開催します。

※問い合わせ先

マキオドライビングスクール

☎(72) 1026

九州地区大学野球選手権大会の開催について

26大学が参加し、九州地区大学野球選手権大会が、北薩地区で次のとおり開催されます。阿久根総合運動公園野球場では、4試合が予定されています。なお、入場は無料です。市民の皆様

の観戦をお待ちしています。

◇開催日 10月3日(土)・4日(日)

*両日とも第1試合が10時、第2試合が13時試合開始です。

オータムジャンボ宝くじが発売されます

「オータムジャンボ宝くじ」が9月

28日(月)から10月16日(金)まで発売されます。この宝くじの収益金は、市町村の明るい街づくりや高齢者対策など地域の福祉向上に使われます。
◇抽せん日 10月23日(金)

阿久根市職員人事異動

平成21年9月1日付

○は昇格、カッコは旧職

◆課長級

総務課長兼選挙管理委員会事務局長

(水産商工観光課長 上野 正順

◆補佐級

水産商工観光課長補佐兼水産係長

(水産商工観光課主幹兼水産係長

○前田 武三

市民環境課主幹兼国民年金係長(生

きが対策課主幹) ○辻 誠

◆係長級

生きが対策課児童対策係長(農政

課主査) ○牛濱 美紀

都市建設課用地住宅係長(都市建設

課主査) ○石澤 正志

◆一般職

生きが対策課(農業委員会事務局

局) 栗林 鉄矢

農政課(生きが対策課)

大久保 友恵

農業委員会事務局(生きが対策課)

下脇 克己

有料広告募集について

「広報あくね」では、有料広告を募集しています。商品の宣伝、同窓会の告知などにご活用ください。

◇1枠の広告サイズ 縦5cm 横8.5cm

◇1枠あたりの広告料

2色刷り 5千円 カラー刷り 1万円

*広告の申込み、広告料など不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

※問い合わせ先 総務課秘書広報係

☎73-1211(内線1214)

有料広告

元気です!
阿久根市

ワキやえりの黄変は汗が原因!
汗ぬき加工、防カビ加工、抗菌加工
今月のみ無料サービス中!! 当店のみ
◎9月29日は、クリーニングの日です!

◎フォーマル&きもの専門店

厚生労働大臣検定1級技能士

国家検定1級しみぬき師の店

北薩クリーニング

阿久根市大丸町(スーパータイヨー前)

☎72-0404(代)





9月は健康増進普及月間 および食生活改善普及月間です



平均寿命の著しい伸長にみられるように、健康水準の向上には目覚ましいものがありますが、しかし一方で、人口の高齢化、社会生活環境の急激な変化等に伴って、糖尿病、がん、心臓病、脳卒中などに代表される生活習慣病の増加などが大きな問題になっています。

生活習慣病は日常生活のあり方と深く関連しており、皆様一人ひとりの健康の保持・増進を図るためには、運動習慣の定着や食生活の改善といった健康的な生活習慣の確立が重要です。

生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性について、この期間に理解を深めましょう。

1 に運動 2 に食事
しっかり禁煙 最後にクスリ

～良い生活習慣は、気持ちがいい！～



乳がん・大腸がん検診 受診者募集（完全予約制）

いずれも完全予約制のため待ち時間はありません。受診希望の方は、保健予防係まで電話またはFAX（名前、住所、生年月日、電話番号明記）にてご連絡下さい。定員になり次第受付を終了いたします。

乳がん検診

スタッフ全員が女性の特別医療法人博愛会相良病院に委託して下記の検診を実施します。

●超音波検診

対象者：20歳～39歳の女性

募集人員：50人

●マンモグラフィ2方向

対象者：40歳以上の女性で、市が8月に実施した乳がん検診を受けた方は除きます。40・50代の方を優先させていただきます

募集人員：100人

●期日

11月14日（土） 8時～17時

●場所

阿久根市保健センター（検診車での実施になります）

●自己負担金

いずれも2,000円

申込締切：10月9日（金）まで

大腸がん検診

高野病院総合健診センターに委託して実施する「S状結腸内視鏡検査」です。

食事制限はなく、下剤と浣腸で前準備をしてから受診していただきます。検査の時間は一人約5分です。

受診が決定した方には、事前（11月20日予定）に説明会を実施します。

対象者：40歳以上の方。ただし、市が6月に実施した大腸がん検診を受けた方は除きます。

募集人員：60人

●期日

11月28日（土） 8時～17時

●場所

阿久根市保健センター（検診車での実施になります）

●自己負担金

1,000円

申込締切：10月30日（金）まで

※問い合わせ先 健康増進課 保健予防係

☎ 73-1211（内線1457・1458・1461） FAX 72-2029

● 食生活改善推進員養成講座 受講生募集!! ●

地域のボランティア活動（乳幼児健診など）を一緒に活動する仲間を募集します

私たちが健康に暮らすためには、毎日の食生活が大切です。

より多くの人に良い食生活を身に付けてもらうためにも、まずは自分自身の食生活を見直すことから始めてみませんか？



◇募集人数	25人程度
◇対象	阿久根市在住の方
◇期間	10月27日～12月22日（毎週火曜日・全8回）
◇時間	おおむね9時30分から12時まで
◇主な内容	・講話（生活習慣病・食事バランスガイド・食育） ・運動実技・調理実習など
◇受講料	無料（材料代は実費負担）
◇場所	保健センターおよび働く女性の家
◇申込方法	10月2日（金）までに保健予防係へお申し込みください。 電話またはFAXで、住所・氏名・連絡先をお知らせください。



歯周疾患検診を受けましょう！



市では歯周疾患検診を行います。対象の方は、受診票を持参して検診を受けましょう！



◇対象者	40歳・50歳・60歳・70歳になられる方 ＊年齢は平成22年3月31日を基準とします
◇期間	10月31日（土）までです
◇費用	無料 ＊対象者には8月中に受診票を送付しています
◇必要な物	受診票・保険証（念のため） ＊治療が必要になった場合の治療費は自己負担です



★協力医療機関 ＊必ず予約をしてから受診してください

●あくね歯科医院	☎72-0556	●橋口歯科医院	☎73-0508
●久木田歯科医院	☎73-0470	●宮菌歯科医院	☎73-3222
●スマイル歯科医院	☎75-3300	●よしもと歯科クリニック	☎75-3333

顕著な功績が称えられ表彰

— 谷口洋一さん（尾崎校区）・槇之浦西子ども会 —



地区子ども会個人功労者表彰を受賞した谷口洋一さん（右）

8月1日(土)、出水地区子ども会大会・子ども会創作活動大会が、長島町文化ホールで行われました。開会行事において個人・団体の表彰式があり、本市から尾崎校区の谷口洋一さんが「地区子ども会個人功労者表彰」を、槇之浦西子ども会が、「地区子ども会優良団体表彰」を受賞されました。

谷口さんは、平成14年度から尾崎子ども会育成会の会長を長年歴任されたほか、本市子ども会育成連絡協議会の会長も歴任。校区子ども会はもとより、市全体の子ども会活動・育成会の活性化に尽力され、その功績が称えられました。

また、槇之浦西子ども会は、地域の方々とのグラウンドゴルフを通じた交流活動や米作りを通じた勤労体験活動など、これまでの顕著な活動が認められました。

（子ども会育成連絡協議会事務局寄稿）

出水求職者総合支援センターが開所しました

暮らしや就職のことでお困りの方は、お気軽にご利用ください

◇場 所

N T T 出水ビル 1 階（出水市昭和町 4 3 番 2 4 号）

◇開所日時

利用時間は午前 1 0 時～午後 6 時（土日祝日、年末年始を除く）。

* 受付は午後 5 時 3 0 分まで

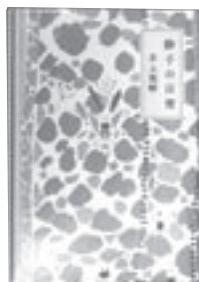
◇業務内容

- ・ 職業訓練等に関する情報提供、能力開発講座の案内
- ・ 生活資金貸付等、生活支援制度の情報提供
- ・ 公営住宅等に関する情報提供・入居手続の相談
- ・ 求職者に対する職業相談・職業紹介
- ・ 求人検索パソコン等の活用による求人情報の提供

※連絡先 出水求職者総合支援センター

☎ 7 9 - 3 3 0 0

新 刊 案 内



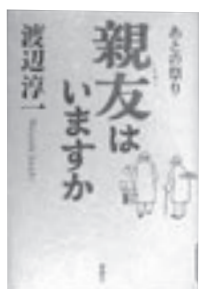
『静子の日常』

井上荒野 著
何かが過剰で、何かが足りないこの世の中。今日も出くわす「ばかげた」事を、宇陀川静子・75歳は見過ごさないノ・チャーミングで痛快な長篇小説



『ともしびマーケット』

朝倉かすみ 著
たくさんさんの買い物客がうごめいています。みんなあんなに生きている。誰かの「いい日」に、ともしびを。人生の「1日」を描いた連作短編



『親友はいますか』

渡辺淳一 著
年齢をとるにつれて、男も女も孤独になっていく。「それで淋しくないの？」といわれたら、もちろん淋しいけど。といって今更、親友をつくるのは…



『八つ花ごよみ』

山本一力 著
病で言葉を失くした妻は、ただ温かな涙を流していた。苦楽をともにした連れ合い、あるいは友という大切な絆を慈しみ生きる姿を描く。

図書館だより

☎ 72-0607

〈ご存知ですか〉

市立図書館では、幼児・児童を対象に絵本の読み聞かせ・映画会・手作り教室を実施しています。すべて無料です。親子で、また友達を誘って楽しいひと時を過ごしてみませんか。

日時・内容につきましては、広報あくねと一緒に配布される「あくね市民カレンダー」で確認されるか、市立図書館へお問い合わせください。

阿久根市民の皆様へ 新ALTのアッシャー ラムラスです



はじめまして、新しいALT（外国語指導助手）のアッシャー ラムラス（Asher Ramras）と申します。アメリカのシアトル市から参りました。22歳です。今年の5月に、カナダのバンクーバーのブリティッシュ・コロンビア大学をアジア語学・文化の専攻で卒業しました。大学を卒業したばかりの時に、この国際交流を進めるALTとして来日させていただいて、ありがたいです。

今、鹿児島での生活は2か月も経っていませんが、外国語や日本文化や和食などに興味のある私にとっては、阿久根市に来て、本当に嬉しく思っております。

9月から、阿久根市の小・中学校に通っております。たくさんの生徒に会い、一緒に仲よく勉強していきたいと思っています。

生徒に外国語を教えることを通じて、語学学習の楽しさを伝えたり、本物の外国人との交流をしたりさせていただければ、幸せだと思います。阿久根市にいる間、生徒や先生方と一緒にできる限り頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

阿久根短歌会

※送り仮名は歴史的仮名遣いを使用しています。

子のくれしくすみし色の菓子うまし蕎麦饅頭とぞ初めて食す
敗戦の満州の地にうなだれて玉音聞きし八月十五日
日食の天体のショー二時間余夢の如くに引き入れられ見ぬ
「負の遺産」背負ひ六十有余年沖繩はいつ沖繩になる
展けゆく車窓にのぞむ母の里過去甦る思ひのいくつ
博学の歌友に学びし日を思ふ偲ぶ木槿の咲く頃となり
海の日船主も船も風を待つ時化おさまらぬおもき夕ぐれ
「暑いですね」声に出しつつ仏前に夫の好みし素麺供ふ
砂浜に寄せくる波長今昔差異あらずして潮騒ひびく
真夜中に電話のコール一度だけ鳴りてその後何事もなし

脇本 赤崎 タエ
琴平 川畑 スミ
新町 遠矢 律
上野 河南誠一郎
折口 白濱 ノブ
上野 亀澤 笑子
脇本 野村 克江
脇本 宮原 範子
上野 有田イチエ
折口 別府 義明



先月、「あぐね洋画展」が市民会館で開催され、今年も多数の力作が展示されました。初日は、内川達先生の作品解説もありました。先生は、作者の意図や画法などについても解説され、全く絵心の無い私にも非常に分かりやいものでした。その解説の中で「主題である作品に目をとられがちですが、作品のタイトルも大切です」と言われた言葉が印象的でした。分かりやすいキャッチフレーズや見出しは、広報誌を作る上でも重要ですので、これから磨いていきたいです。（角島）

うぶごえ

※敬称略

健やかな成長を
お祈りいたします。

出生児 保護者（区名）
上野 瑞歩（瀬ノ浦上）
上鶴 慎也（段）
山元 楓真（瀬ノ浦上）
黒崎 光晴（瀬ノ浦上）
福浦 光（瀬ノ浦上）
小田 綺更（瀬ノ浦上）
陽守（黒之浜）

肥後 智光（上原）
廣瀬 陽奈（波留）
川崎 照夏（折口東）
飛松 諒成（大波留）
野田 詩乃（瀬ノ浦上）
楠木 龍樹（瀬ノ浦上）
基樹（瀬ノ浦上）

おくやみ

※敬称略

ごめい福を
お祈りいたします。

死亡者（区名）代表者
死亡 友治（牧内アツ子）
落 友治（宮原聖幸）
木下 時雄（中屋敷広志）
川畑 ユキ（中村響子）
柿野 ハル子（瀬ノ浦上）
早水 キクマツ（瀬ノ浦上）
柘 靖男（柘川慶代）
永江 アイ子（脇本典男）
中馬 サチ子（古里悦雄）
永野 トキ（深田重美）
牛ノ濱 シズ子（牛之浜美奈子）
山平 貞義（小瀬拓夫）
村山 文江（山下馬場宏治）
丸尾 枝（波留徹）
瀨元 岩雄（黒之上幸江）
瀨崎 マツ（永田下秋義）
富吉 市（佐瀬ユリ）

米次 コヤノ（尾原忠雄）
松永 アイ（牛之浜察志）
的場 フエ（仲仁田安信）
川原 ツルノ（上野寿子）
田代 ハルノ（田代下繁喜）
田上 セツ（柘利昭）
花田 治夫（段ハヤミ）
黒川 國徳（上原サチエ）
梶尾 ナミ（下村響子）
中野 スエノ（田代下文隆）
牛ノ濱 ヨツ子（牛之浜謙太郎）
川畑 重雄（的場ヨツエ）
釜ハツヨ（瀬ノ浦上）
宮原 久世（黒之浜唯明）
新穂 ノブ（大瀬川進）

人のうごき

9月1日現在
（ ）は前月比
人 □ 24,151人（-11人）
男 11,284人（+2人）
女 12,867人（-13人）
世帯数 10,788世帯（-16世帯）
出生 11人
死亡 34人
転入 61人
転出 49人

サークル紹介

「ボーイスカウト阿久根第一団」



私たち、ボーイスカウト阿久根第一団は昭和26年に発団し今年で58年目を迎えました。

現在、団員は35名で楽しいゲームやハイキング、キャンプなどの野外活動のほか、奉仕作業を通して、子どもたちが生きていく力を身につけるよう取り組んでいます。

ボーイスカウト活動に興味のある方は、毎週日曜日午前9時に明信寺にお越しください。また、9月27日(日)午前10時から午前11時30分までスカウトハウス(市総合運動公園近く)でボーイスカウト体験入隊会を行いますので、年長から小学4年生までの皆さんのお越しをお待ちしています。

※連絡先 太田 ☎090-4995-3996

Fresh Smile



的場
くるみさん
(21)

ただ今青春！

◇趣味は何ですか・・・

地区のバレーボールチームに入っていて、たまにするバレーです。いろんな年代の方と交流できて楽しいです。

◇性格を自己分析してください。

マイペース

◇理想の異性像は・・・

私を笑わせてくれる人

◇阿久根について一言・・・

もっと人が集まるようなスポットを作ってほしい!!



全国大会で入賞した鶴翔高校放送部

第56回NHK杯全国高校放送コンテスト 2部門で入賞

— 鶴翔高校放送部 —

鶴翔高校放送部が、6月に行われた第56回NHK杯全国高校放送コンテスト鹿児島県予選で7部門中、「テレビドキュメント部門」、「創作ラジオドラマ部門」、「ラジオドキュメント部門」の3部門で最優秀賞を獲得し、それぞれ全国大会に出場。全国大会は7月21日から24日まで東京都で行われ、「創作ラジオドラマ部門」および「テレビドキュメント部門」の2部門で準決勝まで進出しました。惜しくも決勝進出はなりませんでした。2部門で入賞しました。

阿久根伊勢えび祭り 10月31日(土)まで開催中！

ご予約・お問い合わせは、次の協賛店または阿久根市観光協会（☎72-1185）へご連絡ください。

◎協賛店（掲載は順不同）

・栄屋旅館	☎72-1431	・グランビューあくね	☎73-1411
・味の大漉	☎75-1752	・磯の味	☎75-1670
・潮騒	☎75-0193	・ぶえんかん	☎73-2211
・太郎寿司	☎72-0011	・いらっしゃいませ	☎73-2979
・十三	☎0120-39-1335	・竹馬の友	☎72-0888
・ラ・ボンジョルネ	☎73-3112	・道の駅「阿久根」	☎74-1400
・ひさご旅館	☎72-1010	・魚魚	☎75-3600

